



阪神電気鉄道
HANSHIN ELECTRIC RAILWAY CO.,LTD.



武庫川大学

2027年4月、武庫川女子大学から名称変更。

2026年10月14日

阪神電気鉄道株式会社
武庫川女子大学

「食」から従業員の健康を支える食習慣改善イベントを実施 武庫川女子大学と協働し、社員食堂で学生考案の健康メニューを提供

阪神電気鉄道株式会社（本社：大阪市福島区、社長：久須勇介、以下「阪神電気鉄道」）では、包括連携協定を締結している武庫川女子大学（兵庫県西宮市、学長：高橋享子）と協働し、10月19日（月）、26日（月）、11月5日（木）の3日間、阪神電気鉄道の社内で食習慣改善イベントを実施します。

本イベントは、阪神電気鉄道の「健康経営」の取組みの一環として、武庫川女子大学との産学連携による従業員の食習慣の改善（生活習慣病の予防）を目的としており、大学生が考案したメニューを、阪神電気鉄道の鉄道現業の従業員が利用する社員食堂で提供するものです。

今後とも、教育・文化・まちづくりなど様々な分野で相互に協力し、地域社会の発展を目指してまいります。

【食習慣改善イベントの概要】

1 内容

武庫川女子大学 食物栄養科学部食物栄養学科の学生たちが、阪神電気鉄道の鉄道現業の従業員が利用する社員食堂で、食習慣の改善を目指して考案した三つのメニューを提供します。また、学生たちが独自に作成したリーフレットの配布も実施します。

2 実施の背景

阪神電気鉄道では、「人の尊重」を大切な価値観とし、従業員やその家族の健康が会社の豊かな未来の礎であると考えて「健康経営」を推進しています。企業の持続的な発展に従業員の健康は欠かせず、人手不足が社会課題となる中で、その重要性はより高まっています。特に重要な課題の一つとして「生活習慣病の予防」を掲げ、社員食堂（3事業所）でのヘルシーメニューの提供等の取組みを実施していますが、鉄道現業の従業員は、他の従業員と比べて野菜摂取量が少ないという課題がありました。

そこで、包括連携協定を締結している武庫川女子大学と連携し、食習慣改善の必要性が高い鉄道現業の従業員をターゲットとした本イベントを実施することとしました。

3 日程

10月19日（月）、26日（月）、11月5日（木）

4 場所

阪神電気鉄道株式会社 社員食堂（尼崎・西宮）

(参考)

・ 阪神電気鉄道の健康経営について

阪神電気鉄道では、経営理念において「人の尊重」を大切な価値観とし、従業員やその家族の健康が会社の豊かな未来の礎であるとの考えの下、2018年に「健康宣言」を制定するとともに、2020年に発表した「阪急阪神ホールディングスグループ サステナビリティ宣言」が掲げる重要テーマ「一人ひとりの活躍」の一環として、健康経営の推進に取り組んでいます。

現在、経済産業省と日本健康会議が共同で選定する「健康経営優良法人2026（大規模法人部門（ホワイト500）」に認定（7回目）されており、今後もその取組みを強化してまいります。



・ 武庫川女子大学 食物栄養科学部食物栄養学科について

栄養学の高度な知識を身に付け、食を通して健康に貢献。1967年から全国に先駆け、管理栄養士を養成しています。今回は、堀内理恵教授の研究室に所属する学生が参加し、栄養バランスの取れた食事を考案しました。

以 上